

国立大学法人 東京大学
大学共同利用機関法人 分子科学研究所

藤田誠 卓越教授
クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞受賞
ならびに社会連携講座設立、東大基金設置

【発表のポイント】

- ◆藤田誠 東京大学卓越教授/分子科学研究所卓越教授(62)が2020年度クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞を受賞しました。
- ◆同教授が開発した分子構造解析技術の中核技術の一つとする東京大学社会連携講座「統合分子構造解析講座」が東京大学大学院工学系研究科に11月1日付で設置されます。
- ◆同教授の卓越教授移行後の研究活動支援を目的とした、東京大学基金「藤田ナノサイエンス基金」が設立されました。

【発表内容】

(1) 2020年度クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞

東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻の藤田誠 東京大学卓越教授（分子科学研究所特別研究部門 卓越教授兼任）は、2020年度クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞を受賞しました。発表は、昨日9月23日（水）15:00にクラリベイトオフィス（東京・赤坂）よりオンライン配信により行われました。

同賞は、アメリカに本社を置くクラリベイト・アナリティクス社のデータベースを用いた論文・引用分析において、ノーベル賞クラスと目される研究者を発表するものです。世界トップクラスの研究者の功績を讃え広めることで、科学がより身近なものとして認知されることを目的に、2002年からノーベル賞に先駆けた発表を恒例化しています。（一部、クラリベイト・アナリティクス社HPより抜粋）

(2) 社会連携講座「統合分子構造解析講座」

藤田卓越教授が開発した分子構造解析技術の中核技術の一つとする東京大学社会連携講座「統合分子構造解析講座」が、東京大学大学院工学系研究科に11月1日付で設置されます。

同講座は、佐藤宗太特任教授、藤田誠卓越教授（兼任）、中間貴寛特任助教が運営します。装置、化学、分析、製薬、農薬、香料、材料、空調、生活、等々、分子構造解析に共通の事業展開や問題点を抱える民間企業 19 社の出資で設置され、低分子化合物からタンパクのような巨大分子までを対象に、これまでは専門性が高く分業が効率的と信じ込まれていた分子構造解析手法（X線、NMR、質量分析等）を、学術的および技術的に、さらには事業として統合を図ることを目指しています。

また、本講座を基に、近い将来に大学と産業界が一体となった、世界に一つの「分子構造解析 技術開発拠点」の形成を目標としています。

(3) 藤田ナノサイエンス基金

藤田卓越教授は、昨年3月に東京大学より「東京大学卓越教授」の称号を授与されました（同称号の授与は3人目）。東京大学卓越教授は、75歳までの雇用が特例的に認められ、定年退職後も本学の教育研究に従事可能となるほか、「特別栄誉教授」の称号も付与されます。

一方で、定年退職後、現役の教授が文科省から無償で提供を受ける基準面積、学生定員、スタッフ定員、運営費等がすべて途絶えるため、研究の継続のためには、継続的な外部資金の獲得が必要となります。東京大学は、藤田卓越教授の研究活動の継続を願う企業や個人からの寄付を募る東京大学基金「藤田ナノサイエンス基金」を立ち上げました。本基金は、研究活動のみならず、若手研究者の育成や博士課程学生の支援など、次世代の研究者を育てる目的にも使われます。

基金の趣旨にご賛同を願うとともに、今後の藤田卓越教授に関するマスコミ報道におかれましては、ご寄付をお願いする一文（もしくは囲み）を添えていただきますことを、強くお願い申し上げます。

藤田卓越教授の研究活動を支援する「藤田ナノサイエンス基金」
<https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt108>

【問い合わせ先】

(1) に関して：

藤田 誠（フジタ マコト）

東京大学 大学院工学系研究科 応用化学専攻 卓越教授

機関窓口

東京大学 大学院工学系研究科 広報室 担当：丸川純夫

分子科学研究所 広報室 担当：原田美幸

(2) に関して：

佐藤 宗太（サトウ ソウタ）

東京大学社会連携講座「統合分子構造解析講座」 特任教授

機関窓口

東京大学 大学院工学系研究科 広報室 担当：丸川純夫

(3) に関して：

藤田 誠 (フジタ マコト)

機関窓口

東京大学 社会連携本部 渉外部門 担当：シニア・ディレクター 井上清治